

安全データシート

1.【製品及び会社情報】

製品名	HR® Lubricating Jelly
製造者	HR HealthCare
住所	2600 Eastern Blvd. Suite 201 York, PA 17402
連絡先	877-302-1110
販売者	株式会社メディコン
住所	大阪市北区曾根崎新地 1-13-22
連絡先	0120-036-541
推奨用途	潤滑剤
使用上の制限	上記用途以外には使用しない

2.【危険有害性の要約】

GHS 分類

物理化学的危険性	爆発物	分類できない
	可燃性ガス	区分に該当しない
	可燃性エアゾール	区分に該当しない
	酸化性ガス	区分に該当しない
	高圧ガス	区分に該当しない
	引火性液体	分類できない
	可燃性固体	区分に該当しない
	自己反応性化学品	分類できない
	自然発火性液体	分類できない
	自然発火性固体	区分に該当しない
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類できない
	酸化性液体	分類できない
	酸化性固体	区分に該当しない
	有機過酸化物	分類できない
	金属腐食性物質	分類できない
健康に対する有害性	鈍性化爆発物	分類できない
	急性毒性(経口)	分類できない
	急性毒性(経皮)	分類できない
	急性毒性(吸入:気体)	区分に該当しない
	急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
	急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 2(中枢神経系、血液系)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分 2(中枢神経系、呼吸器)
	誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期(急性)	分類できない

絵表示	水生環境有害性 長期(慢性)	分類できない
		
注意喚起語	警告	
危険有害性情報	中枢神経系、血液系の障害のおそれ 長期にわたる又は反復ばく露による中枢神経系、呼吸器の障害のおそれ	
注意書き	安全対策 • 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。 • 取扱い後は手をよく洗うこと。 • この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 応急措置 • ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。 • 気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。 保管 • 換気の良い、冷暗所で保管すること。 • 容器を密閉しておくこと。 廃棄 • 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託し適切に廃棄すること。	

3.【組成及び成分情報】

化学物質・混合物の区別 混合物

化学名または一般名	濃度(%)	CAS 番号	官報公示整理番号	
			化審法	安衛法
プロピレングリコール	5.0-10	57-55-6	2-234	-

4.【応急措置】

吸入した場合	新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。医師の診察／手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	汚染された衣服を脱がせる。皮膚に付着した部分を多量の流水で洗浄する。医師の診察を受けること。
眼に入った場合	流水で 10 分間洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、洗浄を続けること。医師の診察／手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐ。コップ一杯の水(約 200mL)を飲ませる。無理に吐かせない。医師の診察／手当てを受けること。

5.【火災時の措置】

消火剤	水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素、耐アルコール性泡消火剤
使ってはならない消火剤	棒状注水
特有の危険有害性	情報なし
特有の消火方法	周囲の容器を水スプレーで冷却する。可能であれば、容器を危険区域外に持ち出す。加熱により圧力が上昇し破裂する恐れがある。
消火を行う者の保護	適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6.【漏出時の措置】

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	全ての着火源を取り除く。
環境に対する注意事項	関係者以外の立入りを禁止する。 環境中に放出してはならない。

封じ込め及び浄化の方法
及び機材 少量の場合、ウエス、雑巾等によく拭き取り適切な廃棄容器に回収する。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7.【取扱い及び保管上の注意】

取扱い

技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。
安全取扱注意事項	容器を開けたままにしない。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
接触回避	『10. 安定性及び反応性』を参照。
衛生対策	取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

技術的対策	消防法の規制に従う。
混触禁止物質	『10. 安定性及び反応性』を参照。
安全な保管条件	容器は密閉して換気の良い冷暗所に保管する。

8.【ばく露防止及び保護措置】

製品としての情報がないため以下、プロピレングリコールの情報を記載する。

プロピレングリコール

管理濃度 未設定

許容濃度

日本産業衛生学会	未設定(2023年版)
ACGIH(TLV-TWA)	未設定(2023年版)
ACGIH(TLV-STEL)	未設定(2023年版)

設備対策

作業場所には換気設備を設置する。取り扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具	必要に応じて状況に応じた適切な呼吸用保護具を使用する。 －防毒マスクは、電動ファン又は面体が国家検定合格品であることを確認し、作業に適した性能及び構造のものを選ぶ。
手の保護具	保護手袋を着用する。天然ゴム、クロロプレン、ニトリルゴム、ブチルゴム、フッ素ゴム、PVC が適している。
眼の保護具	サイドシールド付きまたはゴーグル形保護眼鏡を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	長袖の保護衣を着用すること。

9.【物理的及び化学的性質】

物理的状態、形状、色など	半透明のゲル
臭い	無臭
pH	5.6-6.7
融点／凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし
引火点	データなし
可燃性	データなし
爆発下限及び爆発上限界／	データなし
可燃限界	
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
動粘性率	データなし
溶解度(水)	データなし
n-オクタノール/水分分配係数 (log 値)	データなし

蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	1.01 g/cm ³ (8.428 lbs/gal)データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10.【安定性及び反応性】

製品としての情報がないため以下、プロピレングリコールの安定性及び反応性情報を記載する。

プロピレングリコール

反応性	「危険有害反応可能性」を参照。
化学的安定性	強酸化剤およびアルカリと 激しく反応する
危険有害反応可能性	この物質は酸化剤、酸無水物および酸塩化物と危険な反応を起こす可能性がある
避けるべき条件	火気、加熱、高温、静電気、火花、爆発性混合気の形成
混触危険物質	酸化性物質、酸塩化物、酸無水物、クロロホルメート、還元剤
危険有害な分解生成物	情報なし

11.【有害性情報】

製品としての情報がないため以下、プロピレングリコールの有害性情報を記載する。

プロピレングリコール

急性毒性	経口(ラット LD ₅₀)	8,000mg/kg、NITE の GHS 分類に基づく。
	経皮(ウサギ LD ₅₀)	20,800mg/kg、NITE の GHS 分類に基づく。
	吸入(ラット LC ₅₀)	NITE の GHS 分類に基づく。
皮膚腐食性／刺激性		NITE の GHS 分類に基づく。
眼に対する重篤な損傷性／刺激性		NITE の GHS 分類に基づく。
呼吸器感作性		NITE の GHS 分類に基づく。
皮膚感作性		NITE の GHS 分類に基づく。
生殖細胞変異原性		NITE の GHS 分類に基づく。
発がん性		NITE の GHS 分類に基づく。
生殖毒性		NITE の GHS 分類に基づく。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		NITE の GHS 分類に基づく。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		NITE の GHS 分類に基づく。
誤えん有害性		NITE の GHS 分類に基づく。

12.【環境影響情報】

製品としての情報がないため以下、プロピレングリコールの環境影響情報を記載する。

プロピレングリコール

生態毒性

水生環境有害性(急性)	魚類(メダカ)96 時間 LC50 =100 mg/L、甲殻類(オオシジコ)48 時間 EC50(遊泳障害)=1000 mg/L、藻類(ムレカズキモ)72 時間 EC50(生長速度)=1000 mg/L、NITE の GHS 分類に基づく。
水生環境有害性(慢性)	甲殻類(オオシジコ)21 日間 NOEC(繁殖障害)= 1000 mg/L、藻類(ムレカズキモ)72 時間 NOEC(生長速度) =1000 mg/L、NITE の GHS 分類に基づく。

残留性・分解性	データなし
土壌中の移動性	データなし
生態蓄積性	データなし
オゾン層への有害性	分類できない

13.【廃棄上の注意】

残余廃棄物

廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。

汚染容器及び包装

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する。

14.【輸送上の注意】

国際規制

国連番号	危険物として規制されていない。
国連品名	該当しない
国連分類	該当しない
容器等級	該当しない
海洋汚染物質	該当しない

国内規制

陸上規制情報	消防法の規定に従う。
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報	航空法の規定に従う。

特別安全対策

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
 他の危険物や燃えやすい危険物に上積みしない。
 他の危険物のそばに積載しない。

15.【適用法令】

化審法	優先評価化学物質(プロパン-1, 2-ジオール)
労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第 57 条、施行令第 18 条:プロピレングリコール) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2:プロピレングリコール) リスクアセスメントを実施すべき危険有害物(法第 57 条の 3:プロピレングリコール)
化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法)	該当しない
毒物及び劇物取締法	該当しない
大気汚染防止法	該当しない
水質汚濁防止法	該当しない
消防法	危険物非該当

16.【その他の情報】

参考文献

職場のあんぜんサイト GHS 対応モデルラベル・モデル SDS 情報
 GHS 混合物分類判定ラベル/SDS 作成支援システム(NITE-Gmiccs)
 NITE 総合検索

記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における科学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではございません。又、注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものであります。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いいたします。

改訂履歴 新規作成 2026年03月05日